

駐在員事務所とは

Representative Office（代表处 dàibiǎochù）は、外国企業の従属拠点であり、独自の法人格を持ちません。独立した法人とは認められず、本社の存在を中国国内へ延長する位置づけにとどまります。申請はSAMRが審査します。

2年

親会社は最低2年の営業実績と、非の打ちどころのない事業履歴が求められます。登録資本の払い込みは不要で、事務所の存在自体がブランドの信用を高めます。

できること・できないこと

できること：

- ✓ 市場分析、価格モニタリング、工場の選定
- ✓ 商談、本社と取引先をつなぐ連絡窓口
- ✓ 品質管理と発注の監督
- ✓ ブランドの広報——ただし販売の成約は不可
- ✓ オフィスの賃借、従業員の雇用、外国人の査証手続き

できないこと：

- △ 売買契約の締結、役務対価の受領
- △ 売上金の口座受領、発票（fāpiào）の発行
- △ 自己の名義による対外貿易取引
- △ 増値税（VAT）の還付申請

注意

口座に入金できるのは、事務所の日常経費に充てる親会社の資金のみです。一線を越えれば罰金、最悪の場合は登記抹消となります。

必要書類と登記期間

親会社の書類は中国語に翻訳のうえ認証を受けます。2023 年 11 月以降、多くの国では領事認証が不要となり、アポステイーユと認証翻訳で足ります。

書類一式：

- ✓ 親会社の定款および登記証明書
- ✓ 親会社名義で書類に署名するための委任状
- ✓ 首席代表および一般代表の任命書
- ✓ 企業の支払能力に関する銀行証明
- ✓ 期間 12 か月以上の非居住用物件の賃貸借契約

住宅は事務所に使えません——物件の用途は非居住用である必要があります。香港法人については簡易な認証手続きが適用されます。

登記の流れと期間

- 1 名称の事前承認
- 2 SAMR への書類提出と登記証の交付
- 3 公安局（PSB）を通じた印章の作成
- 4 税務登録
- 5 銀行口座の開設

約 2 週間

登記手続きそのもの

1.5～3 か月

準備を含む全工程

上海・北京は費用が高い一方、手続きが整備されており進行は速く、地方ではその逆になります。

費用と税務

支出は一時費用と経常費用に分かれます。逆説的ですが、事務所に利益はないのに納税義務は生じます——みなし利益（deemed profit）方式が適用されるためです。

支払項目	区分
書類の認証・翻訳	一時
登記手数料・公課	一時
印章作成・口座開設	一時
コンサルタント報酬	一時
賃料、記帳代行、税金、社会保険料	経常

経常支出こそが主要なコスト項目です。事前に試算した予算が想定外の出費を防ぎます。

税務の仕組み

みなし利益方式

経費 × 利益率 = みなし利益。この金額を課税標準として企業所得税と増値税が課されます。経費規模が大きいほど納付額も増えます。

申告と源泉徴収

- ✓ 四半期ごと——申告書の提出
- ✓ 源泉徴収義務者——従業員への支払いについて

経費の正確な計上は納付額に直接影響します。

人員と査証

- ✓ 首席代表と一般代表——外国人の人数には上限あり
- ✓ Z 類査証と就業許可、毎年更新が必要
- ✓ 中国人の雇用は人材派遣機関経由に限定——FESCO、CIIC

社会保険料の納付は義務です。これを怠れば事務所の業務が停止しかねません。

申告と形態の選択

申告と清算

- △ 登記機関への年次報告書 + 納税申告書付きの監査報告書
- △ わずかな遅延でも——罰金と口座凍結
- △ 清算：監査、税務調査、精算、口座解約、印章の返納

大都市では、閉鎖時の税務調査だけで2〜3か月を要します。

駐在員事務所か WFOE か？

駐在員事務所：市場の偵察——需要、人脈、評判——販売も収入もなし。WFOE / 合併：実際の販売と収益。直接の組織変更はできず——まず清算が必要。

「駐在員事務所とは、発砲を許されない偵察部隊です。状況を見極める間は代えがたい存在ですが、最初の取引が発生した時点で本格的な会社への移行が必要になります。」 — セルゲイ・コノン (Sergei Konon)、アジア市場進出コンサルタント

CONTACTS

VITA LIBERTA LIMITED

www.vitaliberta.hk

Office room 68, 7/F, Woon Lee Commercial Building, 7 Austin Ave, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

+852 6841 6177



legal@vitaliberta.com



Hangzhou office (China):

Room 815, Building 3, Zhonghao Wangjiang International, No. 332 Wangjiang East Road, Shangcheng District, Hangzhou City

Direct line:

+86 130 7361 7169